

小石川植物園は 東京低地と武蔵野台地の境界線(段丘崖)に位置しています 低地側は日本庭園 台地側は森や芝の広場になっています その森の中にひときわ目立つ白い樹皮の大きな樹が2本あります 「モミジバスズカケノキ」です 街路樹のプラタナスと同じ仲間ですが この森の2本はひときわ背が高く 巨木の風格を備えています 私が大潮展(東京都美術館)で初入選し時絵の 思い出の風景です



これが完成した絵です



1、晩秋の落葉樹の色は 実にさまざまです 黄・橙・赤・茶・紫などを重ねてゆきます



2、「滲み」と「滲まない」を混在させます 偶然の滲みも大切にします



3、主題のスズカケの木は 樹皮が難しい 白のパステル ジョンブリアン(肌色)の絵具も使っています



4、木の根元は 濃い縦すじを入れて ゴツゴツとした立体感を出します



5、落ち葉も難しい 何色か短い横のストロークで描き 葉の影もつけておきます



6、森の奥の暗さは シャドウグリーンに更にブラックを混ぜて 木と木の間に塗ります